

市民農園で生じた空き区画維持のため 障害者就労支援施設に管理業務を委託 矢問農園 ^{やとつ}（事業主体：JA兵庫六甲）（川西市）



経緯

- ・ 矢問農園はJA兵庫六甲が事業主体となって河川敷を整備し、平成19年にオープンした市民農園。
- ・ 当初は農地が440区画あり、キャンセル待ちが出るほど人気だったが、5年ほど前から利用者の高齢化により、栽培をやめる人が年々増加し、全体の約3割が空農地となった。
- ・ そこで、農園を管理している矢問農園管理組合は、活動の場を探していた地元の障害者就労支援施設「ふぉーぶーむ」を運営するNPO法人「百生一輝」と契約を結び、一部の空き区画の管理業務を委託。

取組内容

- ・ 作業内容は、雑草の生い茂る区画の雑草をぬき土に混ぜて整地にしたり、通路を作り直して区画を整備するなど。
- ・ NPO法人へ支払う作業賃は、管理組合が貸農園として得られる収入から借地料等の必要経費を差し引いた残金から捻出。

今後の展望等

- ・ NPO法人との契約は、当初は令和3年5月から10月までの半年間の試験導入としていたが、作業の進捗はゆっくりだが、ほかの農園利用者との交流も生まれていることから11月からの契約を更新。
- ・ 今回の取組が順調にいけば、ほかの就労支援施設にもお願いして農園全域に広げていくことを検討。